

世界初、ISOに準拠したドローンポート情報管理システム「BEPポート | VIS」

概要

物流用ドローンポートの国際標準規格「ISO5491」に準拠。

複数のポートの稼働状況やドローン等の自動離着陸時の安全確認などの各種情報を一元的管理。他システムや各種センサーと連携し、ドローンの安全な離着陸を実現します。

特徴

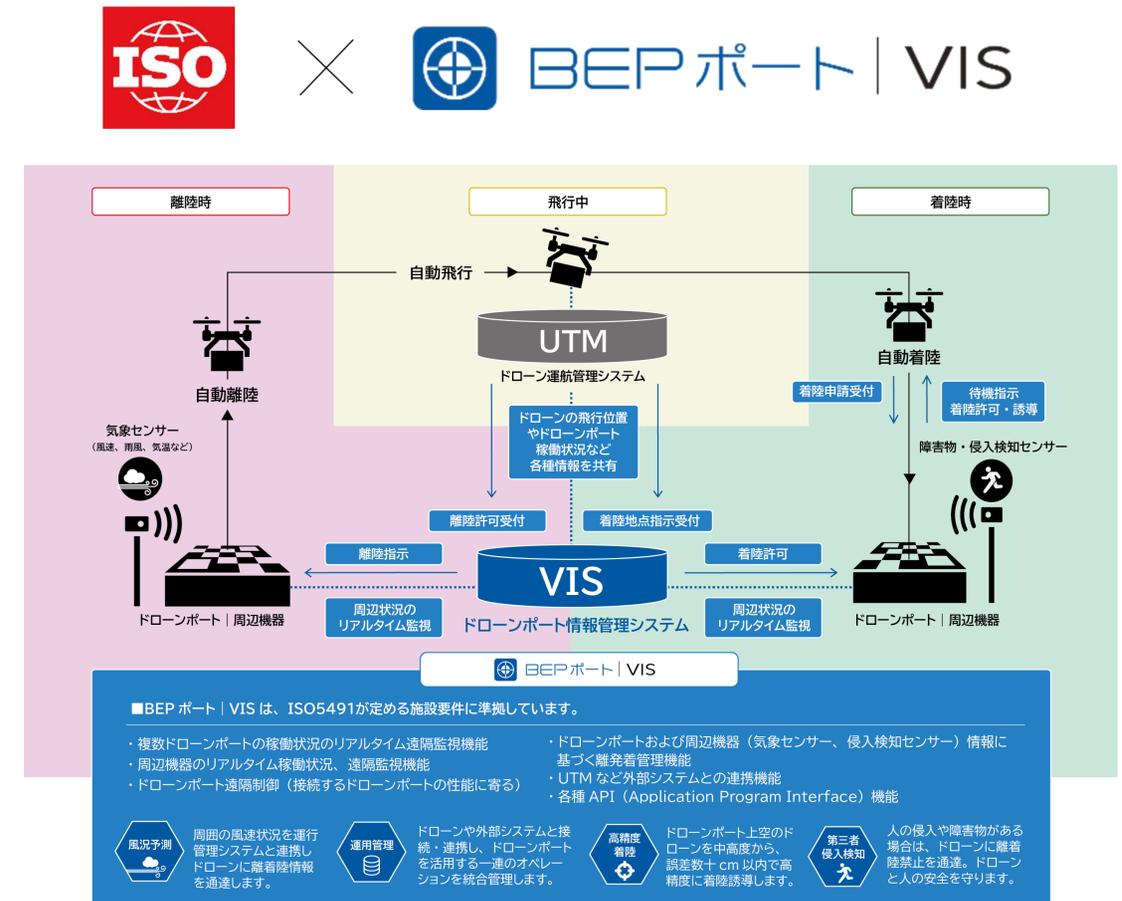
- 本システムは、「Blue Earth Platform (BEP)※」をベースに、ISO5491に準拠した機能(右図)を実装しており、ドローンポートの稼働状況や各種センサーによるドローンポート周辺の安全確認などの各種情報を一元的かつリアルタイムに集約・管理し、他システムとも共有・連結することで、一連かつ複数のドローン運用オペレーションを安全に遂行させます。
- ドローンの社会実装加速に向け、異機種・複数機のドローン離発着から運航まで、安全に統合管理・運用する全自動運航システムの実証・協創が可能になります。

今後の展開

- 物流事業者や点検事業者、UTMサービスプロバイダー、ドローンポートメーカーなど共に物流や災害対策、点検、測量などの分野におけるドローン利活用を進め、社会課題の解決支援、安心安全な空のインフラ構築に貢献します。

テーマ「ともに究め、明日の社会を拓く」との関連

- 国内外において個社別に進められていたドローン物流などにおけるドローンポートおよび関連システムの開発や運用実証、事業化検討などが国際標準規格下で行われるようになり、公共性の高い社会インフラとして期待されているレベル4での異機種・複数機のドローンを活用した目視外・全自動ドローン運航管理システム開発の加速が期待できます。



ドローン運用におけるBEPポート | VISの機能と役割(青字)

※Blue Earth Platform(BEP)・・・ブルーイノベーション独自のデバイス統合プラットフォーム。ATRの「UNRプラットフォーム」を元に開発。

連絡先:ブルーイノベーション株式会社 PRマーケティング部 E-mail: info@blue-i.co.jp